

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

安 心 ・ 安 全 で 快 適 に 暮 ら す こ と が で き る ま ち づ く り (防 災 ・ 安 全)

平成28年 1月 6日 (当初)

平成28年 3月29日 (第1回変更)

愛 知 県 半 田 市

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成28年 3月29日

計画の名称	安心・安全で快適に暮らすことができるまちづくり（防災・安全）										重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）					交付対象	半田市											
計画の目標	本市は東海地震に関する地震防災強化地域及び東南海・南海地震防災対策推進地域に全域が指定されており、平成26年5月に愛知県により示された南海トラフ巨大地震による被害想定では、揺れや火災などによる建物被害、建物倒壊や火災などによる人的被害などの甚大な被害が懸念され、防災・減災に対するさらなる対策が急務となっている。 本市の玄関口であるJR半田駅前の中心市街地は、老朽住宅が建ち並ぶ密集住宅地であり、災害時に火災延焼や避難困難などによる被害拡大が懸念されることから、安心で安全な生活空間の形成が求められている。そこで本計画では、土地区画整理事業の実施により密集市街地を解消することで、「安心・安全で快適に暮らすことができるまちづくり」を目指している。																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> JR半田駅前土地区画整理事業区域内の公共空地率[*]を19%から29%に向上する。 [*]公共空地率：土地区画整理事業区域面積に対する公共用地及び公共空地面積の比率 公共用地：公共施設の用に供されている土地（道路等） 公共空地：市によって管理している空地（緊急防災空地整備事業等で買収した土地） JR半田駅前土地区画整理事業区域内の老朽建物解消率を0%から14%に向上する。 JR半田駅周辺のまちづくりに関する勉強会等の参加延人数を11人（H26）から100人（H31）へ増加させる。 																	
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考					
											当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)				
	JR半田駅前土地区画整理事業区域内の公共用地及び公共空地の比率を計測する。										19%	26%		29%				
	JR半田駅前土地区画整理事業区域内の老朽建物解消率を計測する。										0%	5%		14%				
	JR半田駅周辺のまちづくりに関する勉強会等の参加する延べ人数を計測する。										11人	50人	100人					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,030.0百万円	A	990.0百万円	B	00.0百万円	C	40.0百万円	D	00.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		3.9%					
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				
1-A-1	都市再生 区画	一般	半田市	直接	半田市	—	JR半田駅前土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=6.2ha	半田市						990.0		—	
										合計					990.0		—	
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				
															0			
										合計					0			
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
										H27	H28	H29	H30	H31				
1-C-1	計画・調査	一般	半田市	直接	半田市	—	地権者合意形成推進事業	先行買収・換地意向調査	半田市						20.0			
1-C-2	計画・調査	一般	半田市	直接	半田市	—	駅前地区まちづくり形成推進事業	まちづくり具体手法検討	半田市						20.0			
										合計					40.0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			
1-C-1	JR半田駅前土地区画整理事業(1-A-1)等と併せて実施することで、地権者合意形成が推進され、建物移転・空地整備による防災性向上と駅前にふさわしい土地活用が促進が期待できる。																	
1-C-2	JR半田駅前土地区画整理事業(1-A-1)等と併せて実施することで、駅前にふさわしい良好なまちづくり形成に向けた意識向上が期待できる。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
									H27	H28	H29	H30	H31					
															0			
										合計					0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	100	81	58		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	100	81	58		
前年度からの繰越額 (d)	0	100	10		
支払済額 (e)	0	171	52		
翌年度繰越額 (f)	100	10	16		
うち未契約繰越額 (g)	100	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	100.0%	0.0%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	土地の時価算定に時間を要したため				

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)

計画の名称	安心・安全で快適に暮らすことができるまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	半田市

